

スリランカで適正な配水の実現に向けて調査

独立行政法人国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において兼工業株式会社(愛知県小牧市、落合 潔代表取締役社長)が提案する「適正な配水の実現と無収水削減に資するPSVシステム※構築のための案件化調査」(スリランカ)を採択しました。

※PSVシステム：持圧弁 (Pressure Sustaining Valve) を用いた配水・給水システム

本調査を行うスリランカ国西部州およびキャンディ県は、内戦終結後の経済発展に伴い、高層住宅の開発が年々増加しており、古い住宅地や配水管の末端の住宅には水が届かないという問題が起きています。また、起伏の激しい地域では丘の上の地域に水が届きにくいという問題もあり、早急な解決が求められています。

これらの問題解決に向けて兼工業は、自社のPSVシステムを活用し、スリランカ上下水道公社と協力しながら、適正な配水による消費者へのサービスの改善、無収水の削減を実現し、上水道事業の運営効率を改善することを目指します。



写真左：水道メーターを接続した同社のPSV



写真右：卓上スケールモデルを用いた上下水道公社職員への説明風景

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。36件が採択され今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース)案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL：<https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 担当 谷口、前島

TEL：052-533-1387 (平日 9:30-17:45) e-mail：jicacbic-psp@jica.go.jp